

平成 21 年 5 月 17 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2005～2008
 課題番号：17520209
 研究課題名（和文） ウィルキー・コリンズの小説とヴィクトリア朝の出版産業
 研究課題名（英文） The Novels of Wilkie Collins and the Victorian Publishing Industry

研究代表者
 Graham Law (LAW, Graham)
 早稲田大学・国際教養学院・教授
 研究者番号：60205276

研究成果の概要：

この研究は、英国ヴィクトリア朝の大衆小説家であったウィルキー・コリンズの職業作家としての生涯を、当時の出版産業の発展に絡めて包括的・学術的に研究するという、学界初の試みであり、その意義を広く国際的に知らしめたことに成果がある。そして同時に、この研究結果は、図書に関する歴史学が未だそれ程発達しているとは言えない日本における出版産業・出版史研究の前進に貢献するものであろう。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2005年度	1,300,000	0	1,300,000
2006年度	900,000	0	900,000
2007年度	800,000	240,000	1,040,000
2008年度	500,000	150,000	650,000
年度			
総計	3,500,000	390,000	3,890,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ語系文学

キーワード：

- | | | |
|-------------|----------------|---------------|
| (1) history | (2) British | (3) Victorian |
| (4) fiction | (5) publishing | (6) industry |

1. 研究開始当初の背景

チャールズ・ディケンズはもちろんのこと、ガスケル、サッカレー、トロロップといったヴィクトリア朝の多くの小説家の職業生活は、出版史の見地から包括的に研究されてきた。しかしながら、ウィルキー・コリンズに関しては、今日に至るまで、このような視点からその作家生活を説明しようと試みる研究者はいなかったのである。

作家としてのウィルキー・コリンズの経歴は40年以上に渡り、それはヴィクトリア女王の治世の初期と末期を除いたほぼすべての期間と一致する。その長い期間に、彼の著作は、英国における大衆文学の緩やかな台頭の証人ともいえる役割を担っていた。この意味での重要性でコリンズの著作に勝るのは、彼の師・協力者・友人・ライバルであったディケンズの作品ぐらいであろう。扇情的小説の「父」、推理小説の「祖父」とも言われるように、コリンズの扇情とサスペンスへの探究心、言い換えれば、超自然的なものと異端的なものへの探究心は、ミステリーとロマンスという近代の人気あるジャンルの形成にとっては、ほかの何よりも重要な意味を持つものである。コリンズの作家生活が始まった時期には、前時代からのパトロン制度が幅を利かせており、そして作家生活が終わりに近づく頃には大衆小説市場の勃興が明らかに認められるようになっていた。

こういった変遷の時期と重なるコリンズの作家活動は、ヴィクトリア朝最盛期の社会的・文化的発展に対して特異な意義を持つと言えよう。変遷とは具体的には、文学作品の日用品化、著作権概念の法的成文化、作家の役割の職業化、「大衆的」読者と「真面目な」読者の区別、という点に見られる。コリンズは全般的には出版の新しい傾向に好意的であったが、こうした変化・発展に対する彼の反

応はしばしば複雑で矛盾を含むものであった。このことは彼の通信文（手紙）に顕著に表れている。現存する通信文のほぼ半分近くは出版の取引と履行に関するものである。

以上のような事情を踏まえて、今回のプロジェクトは、コリンズがその作家活動の各段階において変遷する出版業界にどのように対処し関わったかを研究するものであり、次に挙げる5つの点に焦点を当てている。

- (1) 定期期間出版と連載ものの出版
- (2) 書籍としての出版と、それを貸し出す図書室の存在
- (3) 劇場での上演を目的とした、小説の脚色
- (4) フィクション市場のグローバル化
- (5) 著作代理店組織の形成

以上の点すべてが、19世紀後半の文学・社会学において非常に興味深い事例研究の構成要素である。

2. 研究の目的

この研究プロジェクトの目的は、ウィルキー・コリンズというヴィクトリア朝の大衆小説家の作家活動を、当時の出版産業の発達に絡めて学術的に考察することである。

3. 研究の方法

上記の目的を達成するためには、大英図書館所蔵の専門コレクションの書籍及び定期刊行物を読破するのみならず、英国、米国、オーストラリアの複数の出版社のアーカイヴでの膨大な一次資料の調査が必要であった。このアーカイヴでの資料収集を適時に効率よく進めるに当たっては、資料をデジタル映像に収めて保存、活用するために、最新の科学技術を最大限に活用した。

4. 研究成果

当初の研究計画で設定された4年間に、一次調査を完了し二次資料を読破するのみに留まらず、こうした活動の集大成として、相当数の学術論文やモノグラフを執筆し、出版または学会で発表をした。出版物のうち特に重要なものは下記のとおりである。

- (1) これまで未出版のコリンズの手紙
特に小説家及び劇作家としての彼の職業生活に関するもの の編纂。[図書 (1) 及び論文 (1)、(4)、(7)、(8)]
- (2) アンドルー・モーングー教授との共著による最近のモノグラフ。これは "Life and Letters" シリーズにパルグレイヴ社より出版。[図書 (11)]
- (3) "The Serial Revolution"に関する論文をロバート・パテン教授と共同執筆。これは権威ある "Cambridge History of the Book in Britain" シリーズの第6巻に収められた。

この研究の成果は、以上のように既に国際的に広く認められている。そして同時に図書史という分野が未だ比較的に開拓されていない日本において、出版研究の進歩に多大な貢献をするものである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 8 件)

- (1) William Baker, Andrew Gasson, Graham Law, Paul Lewis, "The Collected Letters of Wilkie Collins: Addenda and Corrigenda (1)", *Wilkie Collins Society Journal* 8 (2005) 48-55頁 (査読有)

- (2) Graham Law, "A Tale of Two Authors: On the shorter fiction of Gaskell and Collins", 『ギヤスケル論集』16 (2006) 1-4頁 (査読無)

- (3) Graham Law, "Other Tales: The shorter stories of Wilkie Collins and Elizabeth Gaskell", *Wilkie Collins Society Journal* 9 (2006) 43-52頁 (査読有)

- (4) William Baker, Andrew Gasson, Graham Law, Paul Lewis, "The Collected Letters of Wilkie Collins: Addenda and Corrigenda (2)", *Wilkie Collins Society Journal* 9 (2006) 59-70頁 (査読有)

- (5) Graham Law, "A Vile Way of Publishing: Gissing and Serials", *Victorian Review* 33:1 (2007) 71-86頁 (査読有)

- (6) Graham Law, "Sympathy for the Devil: or, When was the ending of A Life's Morning rewritten?" *Australasian Journal of Victorian Studies* 12:1 (2007) 35-45頁 (査読有)

- (7) William Baker, Andrew Gasson, Graham Law, Paul Lewis, "The Collected Letters of Wilkie Collins: Addenda and Corrigenda (3)", *Wilkie Collins Society Journal* 10 (2007) 34-69頁 (査読有)

- (8) William Baker, Andrew Gasson, Graham Law, Paul Lewis, "The Collected Letters of Wilkie Collins: Addenda and Corrigenda (4)", *Wilkie Collins Society Journal* 11 (2008) 1-24頁 (査読有)

〔学会発表〕(計 4 件)

(1) Graham Law, “Fanmail, Phantom Friends and a Few Fakes: On the Margins of Collins's Correspondence”, Wilkie Collins Seminar, 東京大学英文学研究所, 2005年11月2日

(2) Graham Law, “Collins on International Copyright”, Society for the History of Authorship, Reading, and Publishing, インド・カルカッタ, 2006年1月31日

(3) Graham Law, “The Serial Revolution at the Periphery”, Society for the History of Authorship, Reading, and Publishing, 南アフリカ・ケープタウン, 2007年4月3日

(4) Graham Law, “Nineteenth-Century Soaps”, Society for the History of Authorship, Reading, and Publishing, デンマーク・コペンハーゲン, 2008年9月10日

〔図書〕(計 11 件)

(1) William Baker, Andrew Gasson, Graham Law, & Paul Lewis, eds, *The Public Face of Wilkie Collins: The Collected Letters* (4 vols; London: Pickering & Chatto, 2005) 総1600頁

(2) Andrew Gasson & Graham Law, “*The Widows*”, by Wilkie Collins: *Unpublished sketches for two plays concerning marriage laws* (London: Wilkie Collins Society, 2005) 総20頁

(3) John Hinks, Catherine Armstrong, Graham Law et al., *Printing Places: Locations of Book Production and Distribution since 1500* (London: British Library, 2005) 185-203頁

(4) Jenny Bourne Taylor, Graham Law, et al., *The Cambridge Companion to Wilkie Collins* (Cambridge: Cambridge University Press, 2006) 97-111頁

(5) Andrew Mangham, Graham Law, et al., *Wilkie Collins: Interdisciplinary Essays* (Newcastle: Cambridge Scholars Publishing, 2007) 178-194頁

(6) Graham Law, “*The New Dragon of Wantley*”, *A Lost Tale by Wilkie Collins: With further discussion of Collins's contributions to The Leader* (London: Wilkie Collins Society, 2007) 総24頁

(7) M-F. Cachin, Graham Law et al., *Au bonheur du feuilleton: naissance et mutations d'un genre* (Paris: Creaphis, 2007) 99-112頁

(8) 松岡光治, Graham Law, 「ギッシングを通して見るー後期ヴィクトリア朝の社会と文化」(広島: 溪水社、2007) 149-165頁

(9) Louis James, Anne Humpherys, Graham Law et al., *G.W.M. Reynolds: Nineteenth-Century Fiction, Politics, and the Press* (Aldershot: Ashgate, 2008) 201-212頁

(10) Graham Law & Andrew Maunder, *Wilkie Collins: A Literary Life* (Basingstoke: Palgrave Macmillan, 2008) 総 214 頁

(11) David McKitterick, Graham Law, Robert L. Patten et al., *The Cambridge History of the Book in Britain: Vol. 6 1830-1914* (Cambridge: Cambridge University Press, 2009) 34-69 頁

6 . 研究組織

(1) 研究代表者

LAW, Graham

早稲田大学・国際教養学院・教授

研究者番号：60205276

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

なし